

概要報告書（追加募集）

事業種別	県域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 ウィメンズネット「らいず」
事業名	デートDVを通して考える～若い世代への暴力防止啓発事業
<p>茨城県内の高校13校、大学4校、計17校で、3,205人の生徒・学生を対象にデートDVの出前講座を行った。また、講座実施後、7つの高校でアンケート調査に協力いただき、講座の有効性、デートDVに対する認知度、暴力やデートDVに対する考え方、さらに、交際経験の有無とデートDVの被害体験・加害体験、被害を受けたときの対応、などについて質問紙による調査を行った（有効回答は1,268人）。その結果、講座で学んだ内容が「ためになる」と回答した生徒は76.7%で、多くの生徒が、講座を有効なものと感じたことが分かった。また、高校生の約半数51.3%が彼氏・彼女がいたことがあり、そのうち、デートDVの何らかの被害経験をもつ生徒は28%に上り、身体的、精神的、性的、経済的暴力のいずれにおいても、女子の被害経験の割合のほうが男子より高かった。また、加害経験ばかりでなく、被害経験をもつ場合でも、暴力を容認する傾向が顕著に高く、「束縛は愛されている証拠」という考えも、デートDV講座の後にもなお拭えていない状況が明らかとなった。調査結果は事業報告書に取りまとめ、今後県内の学校関係者らと共有し、若い世代のDV加害・被害いずれの防止にも役立てていきたい。</p>	
	
<p>茨城県立茨城東高等学校でのデートDV出前講座 2013年12月18日</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。